

(参考) 大型連休における情報セキュリティに関する注意について

大型連休を迎えるにあたり、例年サイバー攻撃が増えがちな時期であるため、情報セキュリティ対策について注意喚起します。

長期休暇の時期は、「システム管理者が長期間不在になる」、「友人や家族と旅行に出かける」等、ウイルス感染や不正アクセス等の被害が発生した場合に対処が遅れて、被害が拡大してしまう可能性があります。このような事態とならないよう、IPA(情報処理推進機構)より「長期休暇における情報セキュリティ対策」が公表されていますので、一読して対策してください。

～ 長期休暇前の対策 ～

1. 使用しない機器の電源 OFF

長期休暇中に使用しない機器は電源を OFF にしてください。

～ 長期休暇中の対策 ～

1. 持ち出し機器やデータの厳重な管理

持ち出し用端末やデータは、ウイルス感染や紛失、盗難等によって情報漏えい等の被害が発生しないよう、厳重に管理してください。

(参考) 行楽等の外出前や外出先での SNS 投稿に注意しましょう

SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)で旅行の計画を書き込んだ場合、内容によっては長期休暇中に留守であることが知られてしまう可能性があります。また、撮影した写真を SNS に投稿したことでトラブルに発展することもあるため、投稿内容や投稿範囲に注意して下さい。

写真を投稿する際には、以下のことに注意が必要です。

- ・投稿時には Exif^{※1} の GPS 情報^{※2} の有無を確認すること
- ・一緒に写っている人には事前に投稿への許可を得ること
- ・公開する必要のない写り込みは特定できないように加工をすること

※1 Exif Exchangeable image file format: 撮影日時や撮影機器のモデル、その他、シャッタースピード、絞り、ISO 感度、GPS 情報など写真用のメタデータで、デジタルカメラでの撮影時に自動的に付加される。

※2 GPS Global Positioning System: 全地球測位システム。人工衛星から緯度と経度などの情報電波を受け取って、現在いるところを割り出すシステム

ブログや SNS に公開する写真は、つい中心となる被写体だけに囚われがちです。しかし、写真に写っている内容や付加されている情報すべてに目を向けて、誰に見られても問題がないよう、投稿前に確認し、必要な処理を行いましょう。



～ 長期休暇明けの対策 ～

1. 修正プログラムの適用

長期休暇中に Windows7 やアドビ社アクロバットリーダー、アドビ社フラッシュプレイヤーの修正プログラムが公開されている場合があります。手動にて適用してください。操作は、別紙1を参照してください。

2. セキュリティソフト『ウイルスバスター』定義ファイルの更新

休暇中に電源を切っていたパソコンは、セキュリティソフト『ウイルスバスター』の定義ファイルが古い状態のままになっています。パソコンにログオンしたら、電子メールの送受信やウェブサイトの閲覧等を行う前に定義ファイルを更新し、最新の状態になっていることを確認してください。操作は、別紙1を参照してください。

最近の IPA への情報セキュリティに関する相談事例を紹介します

相談内容

メールの添付ファイルを開いたら、ファイルの拡張子が変わってしまい、開けなくなってしまい、「暗号化した」という文章が表示された。添付ファイルを開いたパソコンだけでなく、業務で使っていたファイルサーバに保存していたファイルまで同様の状態に陥った。

回答

ランサムウェア^{※3}に感染し、特定のファイルを暗号化されてしまった被害です。感染したパソコン内のファイルだけでなくファイルサーバや接続している外付け HDD 上に保存しているファイルにまで被害が及ぶ場合があります。被害防止のためにはセキュリティソフト『ウイルスバスター』定義ファイルの更新、OS（オペレーティングシステム）やアドビ社アクロバットリーダー、アドビ社フラッシュプレイヤーを最新の状態にし、身に覚えのないメールに添付されたファイルは絶対に開かないことが重要です。

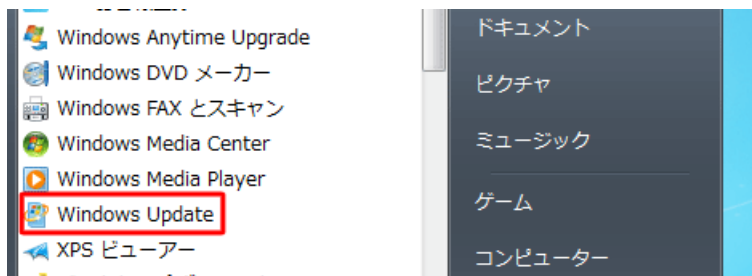
また万が一のランサムウェアに感染した場合、ファイルの復元は不可能です。ファイルはファイルサーバや OneDrive（2016/4/25 現在 最大 1TB）に保存する、CD や DVD に書き込んでおく、など定期的にバックアップをしておいてください。

※3 ランサムウェア ファイルを勝手に暗号化するなどパソコンに制限をかけ、その制限の解除と引き換えに金銭を要求する不正プログラムの総称です

別紙 1

1. Windows7 の Update を手動で行う方法です。Windows Update を行う、とも言います。操作手順です。

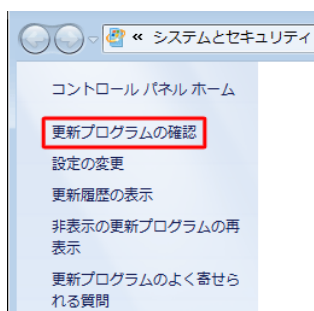
1. 起動しているアプリケーションソフトを終了します。



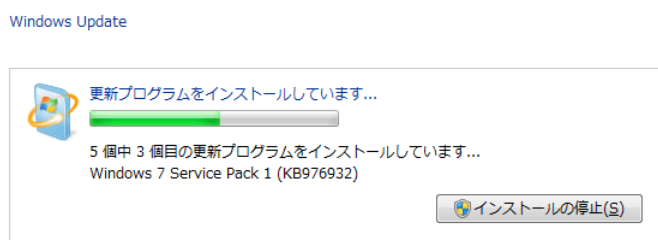
2. 「スタート」 → 「すべてのプログラム」 → 「Windows Update」の順にクリックします。

※ もしくは「スタート」 → 「コントロール パネル」 → 「システムとセキュリティ」 → 「Windows Update」の順にクリックします。

3. 「更新プログラムの確認」をクリックします。

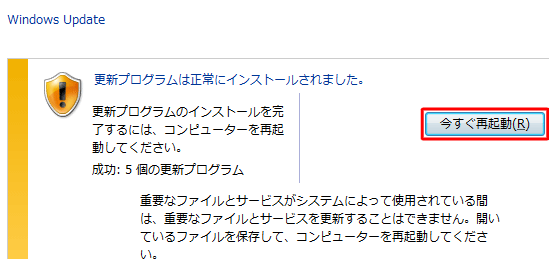


4. 更新プログラムがあった場合は、画面の指示にしたがってインストールを行います
更新プログラムがインストールされている状態



以上で操作完了です。

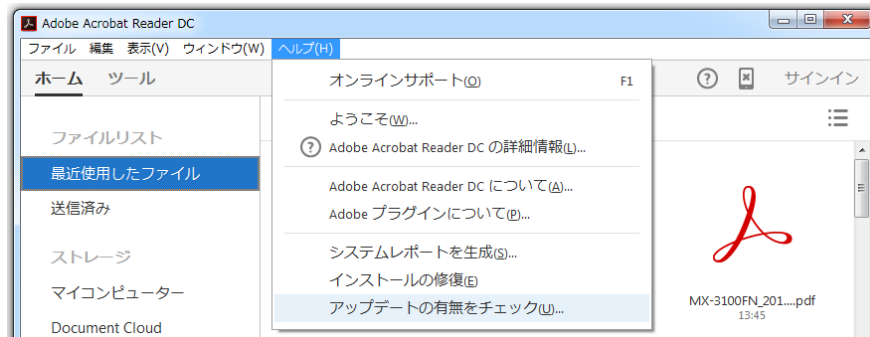
「更新プログラムは正常にインストールされました。」と表示されることを確認してください。再起動が必要な場合は「今すぐ再起動」と表示されますのでクリックして再起動してください。



2. アドビ社アクロバットリーダーの更新を手動で行う方法です。

アクロバットリーダーを起動します。

ヘルプ - アップデートの有無をチェック (U)... をクリックします。最新版でない場合は、最新版にアップデートしてください。なおインストール時には、オプションプログラムのチェックは、必ず外してください。



3. アドビ社フラッシュプレイヤーのバージョンを確認し、更新を手動で行う方法です。

フラッシュプレイヤーを利用している場合は必ず行ってください。

サイト https://helpx.adobe.com/jp/flash-player/kb/235703.html#latest_version

(Google などの検索にて、『キーワード： 235703』を検索すると上位にてヒットします)にてバージョンの確認を行い、古い場合には、サイトの下部の Get ADOBE FLASH PLAYER アイコンをクリックして最新バージョンにします。インストール時には、オプションプログラムのチェックは、必ず外してください (図2)。不要なソフトウェアがインストールされ、既定のブラウザが変更されたり、パソコンの動作が遅くなる場合があります。





図1 Flash Player ヘルプ/Flash Player の状況確認サイトのイメージ



図2 Adobe Flash Player ダウンロードサイトのイメージ

4. セキュリティソフト『ウイルスバスター』の定義ファイルの更新の操作方法です。

 社内用 ウイルスバスターCorp.

タスクバーの△をクリックし (図3)、ウイルスバスターCorp.のアイコン  を右クリックし (図4)、今すぐアップデート をクリックします。

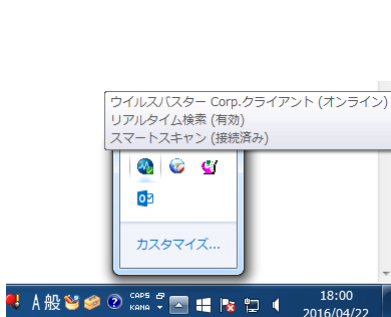


図3 タスクバーの△をクリック

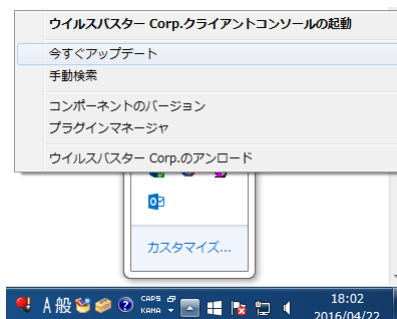



図4 ウイルスバスターCorp.のアイコンを右クリック




図5 サーバーに接続しています



図6 アップデートが完了した状態

 現場、モバイル用 ウイルスバスタークラウド

タスクバーのウイルスバスタークラウドのアイコン  を右クリックし (図7)、手動アップデート をクリックします。

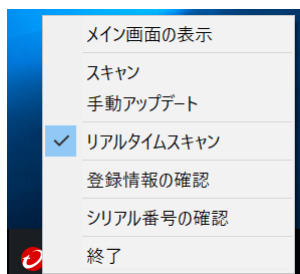


図7 アイコンを右クリック



図8 アップデートが完了した状態